

事務事業名		佐野市農業士会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8643	一般	6	1	2	佐野市農業士会支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S49年度～ 年度			根拠法令 条例等	なし				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		支援事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
補助金の支出 110千円 農業後継者の育成指導及び地域農業の振興のための指導、助言を行う佐野市農業士会に運営の補助金を交付する。 事務局は、農政となっている。 佐野市農業士会は、近代的農業を担う優れた農業後継者の育成、地域農業の振興並びに農村女性ビジョンの推進を図るため、農業士と女性農業士相互の連携強化、組織活動を促進し、もって佐野市農業に寄与することを目的とする団体である。 構成員は、農業士・女性農業士(現在11名)で、組織している。			補助金の支出 110千円 農業士会の主な事業 5月 総会、食育事業広報協力・8月 先進地視察研修・10月 食育事業後援 その他県事業への参加 安足地区農業士会、同女性農業士会参画、オープンファーム、県農業士会、同女性農業士会参画							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
補助金の支出			千円	110	110	110	110	105		
先進地視察実施			回	1	1	1	1	1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
対象指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
佐野市農業士会			農業士	人	7	7	8	8	8	
			女性農業士	人	4	4	5	5	5	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
農業士			人	7	7	8	8	8		
女性農業士			人	4	4	5	5	5		
目的			農業士 ・模範的な農業経営及び農家生活を実践する。 ・地域農業の振興及び青年農業者等の育成を指導する。 女性農業士 ・農業経営に参画して、農村社会における男女共同参画を促進する。							
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
上位成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
耕作放棄地が解消され有効利用されている。			ha	131.1	137.0	130.0	125.0	120.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
事業費の内訳	財源内訳	千円										
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	134		134		134		134		129	
事業費の内訳	事業費計(A)	千円	134		134		134		134		129	
	事業費の内訳	千円	普通旅費	24	普通旅費	24	普通旅費	24	普通旅費	24	普通旅費	24
			補助金	110	補助金	110	補助金	110	補助金	110	補助金	105
人件費	人	1		1		1		1		1		
のべ業務時間	時間	180		180		180		180		180		
人件費計(B)	千円	700		709		709		709		709		
トータルコスト(A)+(B)	千円	834		843		843		843		838		

事務事業名	佐野市農業士会支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	模範的な農業経営及び農家生活を実践するとともに、地域農業の振興と青年農業者等の育成指導を実践できる農業経営者を、全農家のシンボルとするため、昭和47年度に栃木県農業士認定要綱を制定して、開始した。(栃木県より平成17年10月から事務移管 農業士の認定は県)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	農業従事者の高齢化及び担い手の不足が深刻な問題になりつつあり、国の農業に対する支援のあり方が、一定要件を備える認定農業者等に対象を定め、しっかりとした農業経営に焦点を絞った支援に変わりつつある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 優れた農業後継者を育成するとともに、自らも近代農業の研究をして、地域農業を振興することは、本市農業発展に結びつく。また、女性農業者の意識の变革や能力の向上を図ることは、豊かで生きがいのある農家生活の実践と普及につながり、本市農業発展に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 補助金の支出であり、優れた農業後継者を育成しないと、担い手の減少が進むとともに、農地荒廃も進むことが想定される。また、男性農業者と女性農業者では、まだ様々な意識の差があると考えられ、この差を改善しないと豊かで活力のある農村を実現できない。よって、本事業を実施することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 農業士及び女性農業士は、栃木県が定めた認定基準に合致した優れた農業者が認定を受ける。本市においては、現在、農業士7名、女性農業士3名であるが、本市農業発展のため、優れた農業者をさらに育成して、農業士及び女性農業士を増やす必要がある。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 補助金の支出であり、さらなる本市農業の発展のため、様々な事業を考える必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 栃木県農業士会・女性農業士会、安足地区農業士会・女性農業士会 栃木県農業士会・女性農業士会、安足地区農業士会・女性農業士会は何れも栃木県で行っている。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 収入が見込める事業はなく、先進的な近代農業を研究するための研修等が実施できなくなる可能性がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない		理由・改善案 本事業は、農業後継者の育成、地域農業の振興、そして豊かで生きがいのある農家生活の実践等を目的としているため、受益者の負担を求める性格のものではない。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		農業士の制度がなくなるか、該当する農業士がいなくなった場合などを除き、廃止はできない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">1 #</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	1 #	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
1 #	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					